

三信興業は持続可能な開発目標への取り組みを行っています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

～SDGs取り組み事例～

当社では6つの目標を重点に掲げ、総合建設業として地域・環境・生活に密接に関わり合っていることを全社員が認識し、世界共通の課題の解決を支援すべく継続的に取り組んでいます。

環境 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



- 建設現場に快適トイレの設置を推進し、衛生的な労働環境を推進していきます。



社会 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



- 健康診断の定期的な受診により社員の健康増進に努めます。



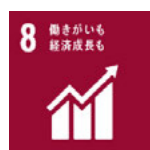
4. すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



- 資格取得支援制度、講習会の積極的参加により、ひとりひとりのスキルアップを目指します。



経済 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



- 地域に根差す企業として地元から 新卒・中途採用を積極的に行っています。



11. 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



- 降雪時の除雪作業によりライフラインの確保 及び地域住民の安全安心な 社会づくりに貢献します。
- 有給休暇の取得率の向上や、毎週1日 ノー残業デーを導入して、社員のワーク・ライフ・バランスの充実を実現していきます。



SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

所在地：新潟県長岡市赤谷 873 番地乙
名称：三信興業株式会社
代表者：代表取締役 石澤 雅弘
登録年月日：令和 4 年 9 月 28 日

新潟県 SDGs 推進建設企業登録制度実施要綱第 8 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

三側面	具体的取組	2030 年に向けた指標	関連する ゴール
環境	建設現場に快適トイレの設置を推進し、衛生的な労働環境を推進していく。	快適トイレの設置 【登録時】1 件 【現状値】2 件 (2024 年度) 【目標値】3 件 (2025 年度)	6
社会	次世代を担う若年層の技術力向上。	40 歳以下の施工管理技士 【登録時】1 人/5 人 20% 【現状値】1 人/6 人 16% (2024 年度) 【目標値】3 人/6 人 50% (2025 年度)	3 4
経済	会社の「現場力」の維持向上の為、若年層の担い手を確保し、40 代未満の社員の割合を増加させる。	40 歳代未満の社員割合の増加 【登録時】5 人/26 人 19% 【現状値】6 人/24 人 25% (2024 年度) 【目標値】7 人/25 人 28% (2025 年度)	8 11
その他		【登録時】 【現状値】 【目標値】	